

三陸北部森林管理署	
タイトル	森林作業道づくり現地検討会及び安全指導
実施年月日	平成24年8月29日(水)
実施場所	午前：岩手県下閉伊郡岩泉町大川字兜森国有林508林班 午後：岩手県宮古市川内地域振興センター大会議室
参加者	局署：東北森林管理局、青森事務所、三陸北部森林管理署 21名 外部：宮古労働基準監督署、 岩手県沿岸広域振興局宮古農林振興センター、宮古市、山田町、 岩泉町、田野畑村、宮古地方森林組合、岩泉町森林組合、 田野畑村森林組合、署管内林業事業体等 109名 計 130名
<p>【取組の目的・概要】 国有林の造林事業（保育間伐活用型）の作業現場において、森林の整備や木材生産の効率的な作業システムを確立するため、経済性を確保しつつ、地形を考慮した継続的に使用できる丈夫で簡易な構造となる森林作業道作設の現地検討会を実施。 事前に当地域の地形・地質、土壌や気象条件等を十分踏まえ、新・旧の森林作業道に①分散排水の作設、②盛土のり面の丸太組工、③洗い越工等を作設したうえで、考慮すべき事項等を示し、説明した。また、バックホーによる森林作業道の作設状況を見学した。 午後からは検討会を室内に移して、作業道作設に係る各種補助事業等の情報交換及び安全指導を実施した。</p>	
<p>【取組の成果】 宮古地方における林業事業体等の林業機械オペレーターに係わる関係者が一堂に会し、林野庁が進めている低コストで壊れにくい森林作業道作設方法について、実物を見ながら検討会を実施することが出来たと好評であった。</p>	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全指導では、昨今発生が多い林業災害の事例説明もあり労働災害防止の新たな動機付け及び参考になったとの声が多かった。 ・実際に森林作業道作設の基本的工法、特に排水溝の作設している様子も、見学したかったとの要望があった。 	
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想以上に参加者が多かったので、見学できる時間及びスペースが狭かったので、次回については検討を要する。 ・会場が市街地から遠いこと等から、マスコミの取材が少なかった。 	



既設の森林作業道の説明



既設の森林作業道について意見交換



森林作業道作設が°レータによる
作設方法の説明



新たに作設した森林作業道について
意見交換



森林作業道作設状況の見学



座学及び安全指導の状況